

Report 2021.04 - 2022.03

DAYS
目次

トオリ
目次

昨年度に引き続き席数を減らした、夜間利用中止にて運営。昼間の貸切ニーズがあり、定休日を利用して貸切を行った。営業時間外の利活用として、サポーター企画を来期に向けて検討。

ヒロバ
目次

withコロナでのイベントを昨年度の実施方法を参考に密にならないように実施。上期はまん延防止・緊急事態宣言が続き、展示イベントと事前予約制の場所提供企画を実施、下期は制限緩和に伴い、昨年度からの企画を規模を拡大して実施。

人材育成
目次

朝活「鹿島田駅周辺清掃活動」
毎月第1火曜日定期開催としたが、コロナ禍で開催は4月・10月・11月・12月の4回と難しい結果となった。開催時は、毎回30名近くの方が参加し、後半は新規参加者も増えた。

サポーターズミーティング・鹿島田deトーク
サポーターズミーティングを全3回開催。鹿島田deトークは全18回開催し、そのうち6回はサポーターが主体となり企画・運営を行った。
鹿島田deトーク企画：TOKYO2020ボランティアのお話・楽しい競馬のススメ「もくもくけいば」etc

花いっぱいプロジェクト
幸区区政50周年イベントとの連携企画に変更。来期に向け、川崎市立川崎総合科学高等学校の協力を得ることとなった。50周年ロゴを利用した展示を計画中。

新川崎・鹿島田みらい街づくり会議
今期より鹿島田駅前交通広場を利用し、『まちの風物詩』をテーマとした七夕飾りや、ハロウィンかかしなどの参加型展示の企画・運営を行った
鹿島田みらいビジョン（ワークショップ3回）
芝浦工業大学をファシリテーターとして実施。鹿島田駅前パブリックスペースの利活用について話し合い、将来ビジョンを作成。

Jly **かしまだ七夕飾り** 7/3-7/18：鹿島田駅前交通広場
新川崎・鹿島田みらい街づくり会議が企画・運営する初の企画となり、密にならない地域参加型の企画となりました。竹は地域の方がご所有の竹林より譲り受け、短冊は500枚を地域の方に事前配布し回収して飾り付けました。季節を彩る展示企画を印象づけた企画となりました。



かしまだ手持ち花火大会 7/28-7/31：かしまだ防災JOYパーク
「コロナ禍の夏休みに思い出を」と手持ち花火を行う場所の提供企画です。完全予約制として10家族(5人)×5日間で2日で満員となり盛況に終わりました。第2弾は緊急事態宣言により中止となりました。来店申込形式により鹿島田デイズへの興味を持つ機会につながりました。

Oct **かしまだハロウィンかかし** 10/17-11/7：鹿島田駅前交通広場
昨年度に続き仮装したかかしの展示を行いました。地域参加型を目指し一般募集を行い、昨年度の7体から27体の展示となりました。夜間ライトアップにより、昼間とは違う夜の賑わい創出となり人気となりました。また、昨年度の協賛企業三井不動産グループに加え、新規で地元団体8社から協賛を頂きました。



Nov **かしまだHALF** 11/20-11/29
芝浦工業大学鈴木研究室との協働企画です。準備期間が短く昨年度の企画を踏襲して実施しました。告知方法・天候等により来場者は駅にきた方がついでに立ち寄られ、芝生で裸足で遊んだり、チョークでお絵描き・ハンモック等広場が近場にないため好評でした。



Dec **かしまだウィンターデコレーション** 12/1-1/10：鹿島田駅前交通広場
季節を彩る企画として昨年度よりイルミネーションを増やし、12/1-12/25クリスマスイルミネーション・12/26-1/10正月飾りとなりました。5町内会・自治会の協力に加え、川崎市立川崎総合科学高等学校・かわさき若者会議・川崎ワカモノLabに参加協力頂きました。幸区役所（道路公園センター）に設置協力を得て、官民学のコラボレーションが実現しました。



かしまだウィンターデコレーション点灯式・交流会 12/1
コロナ禍のため告知を最小限で行いましたが、口コミで広がり多くの方が来場し、関幸区長の挨拶及び点灯により大盛況となりました。点灯式後に5町内会自治会・幸区役所・道路公園センター・新川崎・鹿島田みらい街づくり会議・鹿島田デイズの交流会を行い、様々な意見交換が行われました。

チョークでお絵描き 12/4
鹿島田にゆかりの「かかさとし」さんに触れる企画とし、小さな子供でも気兼ねなく参加出来るようにヒロバでお絵描きも出来るようにしました。室内イベントのため感染対策として、事前予約・時間入替制・人数制限を設けました。予約枠はすぐに満員となったため枠を増やし、当日はしゃぼん玉やオカリナ演奏もありにぎやかに開催されました。



プレイパーク 12/7
夢見ヶ崎プレーパークを作る会との共催で、子どもの遊びや遊び環境に詳しいプレーリーダーレクチャーのもと遊ぶ企画として実施しました。

キャンドルナイト 12/13
芝浦工業大学（鈴木研究室 キャンドル部）との協働企画で、1000個のキャンドルを広場に配置し、点灯しました。コロナ禍のため告知は最小限にしたため程よい来場者数となりました。キャンドル独特の幻想的な灯りは癒しとなり来場者を楽しませていました。他のヒロバPJとは異なる時間帯のため中高生の来場もあり、今までとは違うヒロバの活用となりました。